

もみじ

— 広島県山岳連盟会報 —



一般社団法人 広島県山岳連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL

<http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01200 0 27050

第 2 回 全員協議会開催 11 月 27 日

営業的観点から事業を見直す

岳連指導員の位置づけを

財務状況・指導事業の課題

日時：11 月 27 日 (水) 19:00~20:30

場所：広島市西区民文化センター

議題：1、山岳連盟の財務状況について (村井)

2、指導事業の課題について (後藤)

3、アジア山岳連盟総会について (山田)

全員協議会開催の趣旨

山岳連盟は、正会員である「加盟団体の代表者」及び「個人正会員」で組織され、その執行機関として、会長と理事で構成する「理事会」があります。会社に例えるならば、株主総会や取締役会に当たると考えら

れ、ここで大きな意思決定が行われます。また、山岳連盟の多岐にわたる事業は、第 1 線で活動に携わっている、運営スタッフや加盟団体の会員により成り立っており、これは会社で言うと本社や営業所、工場の従業員と考えることが出来ます。

山岳連盟は、常勤でないボランティアによる組織です。組織を適切に運営していくためには執行機関 (会長や理事会) と現場第 1 線 (運営スタッフなど) との、目標、価値観の共有が重要です。これは、所属する部が異なるスタッフ間 (横断的な関係) においても同じことが言えます。そうでないと、組織がバラバラな方向に分散してしまいます。

現在、山岳連盟では、つぎのような大きな課題があるので、今回はこれらについて、情報と価値観の共有、意見交換を図っていきたいと考えています。

各事業で必要な経費の捻出を

1 山岳連盟の財務状況について (村井仁報告)

山岳連盟は、毎年度、赤字を計上しています。その原因は、多くの事業が赤字であることによります。担当スタッフの中には「これは山岳連盟にとって重要な事業だから、参加費を安くして、赤字になっても行う必要がある。」という意見があります。山岳連盟の事業は、どれも重要なものばかりです。各事業がそのような考え方で運営していくと、山岳連盟は消耗していき、いずれ、その「重要な事業」も継続できなくなります。

出席者 京才昭 (会長)・山田雅昭 (理事長)・野島信隆 (副会長)・福永やす子 (東広島山の会)・福原不二雄 (福山山岳会)・久保信義 (広島山岳会)・菊間秀樹 (県庁山の会)・平田三男 (可部山岳会)・後藤裕司 (广大山の会)・村井仁 (県庁山の会)・岩内秀昭 (クライムハイ)・豊田和司 (事務局長 JAC)・今澤勝美 (個人会員)・木村寛 (タンネン)・小方重明 (広島三峰会)・仲井正美 (ひこばえ)・佐藤建 (CERO クライミングクラブ)・永津信吉 (マツダ)・森智昭 (ひこばえ)・沖中広司 (個人会員)・田戸博樹 (個人会員) 渡谷弘志 (副会長 福山山岳会) 以上 22 名

第2回全員協議会 2013・11・27

また、「なぜ、金儲けをしなければならないのか?」という声を聞きます。山岳連盟が持続、発展していくためには、各事業で必要な経費(コスト)を、その事業で捻出していくことが必要です。あわせて、「事務局経費」の負担も必要です。

岳連事業推進に必要な事務局経費

山岳連盟として事業ができるのは、「事務局」があるからです。何か事業をしようとすれば、事務局が収集整理したメールアドレスや住所を使って、スタッフに連絡できます。ホームページを使って、一般登山者に情報発信ができます。会議をしようとすれば、公共の施設を借りることなく、予約さえすれば、いつでも自由に、事務局で会議をすることができます。事務局経費は、各事業が、応分の負担をしていくことが必要です。その上で、さらに収入があれば、それは、山岳連盟の活動を、より良いものに発展させていくことに使うことができます。運営スタッフに、より活動しやすい環境を提供することもできます。決して「金儲け」をするようお願いしているのではありません。

このことについて、みなさんと意見交換し、みんなで共通の価値観を持ちたいと考えています。

これについて次のような意見が出された。

イメージアップ事業で企業の援助を得る

- ①指導部の事業はもうからない。収入増加のため、団体会員でも個人会員になれるようにしてはどうか。
- ②高齢化した各団体の受け皿として、個人会員の山行を行ってはどうか。
- ③団体会員は代表者が会員数によって投票権を持っているので、その団体の会員が個人会員になることが出来るのは組織上に問題があるのではないかと。むしろ賛助会員とすることが良いのではないかと。
- ④より岳連に関与したいという方は、個人会員になってより活発な意見が出せるので良いのではないかと。
- ⑤団体会員側は面白くない。団体内の会員を個人会員

にできるようにすると二重負担になる。

- ⑥事業ごとの経費に事務局の経費が入っていない。参加費設定のルールづくりは出来ないか。
- ⑦営業的観点から事業を再考してはどうか。登山者のためにもなり、企業のイメージアップに資する事業を考え、企業の援助を得る。
- ⑧(事務局経費の在り方について)ルールづくりの時期かもしれないので、今後検討したい。

指導スタッフの不足**2 指導事業の課題について (後藤裕司報告)**

現在、指導スタッフの不足で、加盟団体あるいは一般登山者に対して行う、各種指導事業(登山教室、クライミングスクール、キッズクライミングほか)が、十分に行いにくくなってきています。これは、山岳連盟の社会的役割が果たせていないだけでなく、明日を担う次世代の若い登山指導者の育成が行えず、山岳連盟および登山界の、あるべき発展が危惧される状況にあります。現在の山岳連盟の登山技術指導体制を、いかにして充実したものにしていくか、そして、それを次世代の登山指導者の育成に、どう繋げていくかについて、現状報告とともに、みなさんの御意見をいただきたいと考えています。

フォト俳句

春立つや 宙に踏み出す 一步より

俳句 豊田和司 写真 江種幸男



第2回全員協議会 2013・11・27**新しいスタッフで改革を**

- ①研修会などの参加者が減少している。また、スタッフが毎年同じである。新しいスタッフに加わっていただき改革したい。
- ②参加会費などの減額も検討してはどうか。
- ③全般的に高齢化が現状である。新しい指導者が求められる。(岳連指導員は現在約80名である。)
- ④岳連指導員は例会山行などにはならず1回指導参加することを義務付けてはどうか。たとえば、指導員名簿の公表、研修会の講師依頼、例会山行へ参加義務付け(最低1回)を計画、実施など。
- ⑤指導員から来年度講習会実施の希望を取ります。また、来年の登山教室のスタッフが決まっていないので希望者を募ります。



岳連短信 写真は 山岳辺境セミナー2012
講師石川直樹氏を囲んで 2012・10・13

2014年11月22日～24日開催**アジア山岳連盟20周年記念総会****3、アジア山岳連盟総会について(山田雅昭報告)**

来年11月22～24日を中心に、広島で、アジア山岳連盟総会・創立20周年記念行事が行われます。これは、広島県山岳連盟の中央組織である「日本山岳協会」が主催する事業ですが、広島で開催されることから、「広島県山岳連盟」が各種運営を支えていかなければなりません。

山田理事長から現在検討されている下記の日程案が示され、協力の要請があった。

2014 アジア山岳連盟(UAAA)総会・創立20周年記念式典 広島山岳平和祭(案)

2014・11・22(土)～11・24(月)

主催 公益社団法人日本山岳協会(JMA)

主管 広島県山岳連盟(HMA)

2014 11月22日(土)UAAA/UIAA 出席者来日レジストレーション(受付)
アステールプラザ

13:00～14:00 国内受付 アステールプラザ

広島市中区加古町4-17 082-247-8700

国際保護シンポジウム

18:00 懇親夕食会

11月23日(日)

平和・安全・安心祈願(平和祭)

式典・記念行事・祝賀会 広島平和記念公園周辺
朝食・各ホテル

8:30～9:30(当日参加)

10:00～11:30

平和・安全・安心祈願 「山岳平和祭」

平和記念公園 慰霊碑周辺

12:00～13:30 昼食

13:20～16:30

UAAA 創立20周年記念行事

アステールプラザ中ホール

18:30～21:00

UAAA 創立20周年記念祝賀会

リーガロイヤルホテル広島

11月24日(月)UAAA/UIAA 弥山ハイク 宮島・厳島神社参拝
朝食・各ホテル

8:30～12:00

各団体別集会

日山協(自然保護委員会総会)

JAC その他の団体

午後 解散

(オプション①銀河ディナークルーズ)

第2回全員協議会 2013・11・27

11月25日(火)

UAAA 総会 アステールプラザ

レディースプログラム市内観光

9:00~12:00

UAAA 総会 アステールプラザ 大会議室 AB

12:00~13:30 昼食

13:30~16:30 UAAA 総会 大会議室 AB

(オプション (レディースプログラム))

②市内観光③秋芳洞と秋吉台ハイキング)

18:00~20:00 夕食

11月26日(水)

UAAA/UIAA 出席者離日 解散

8:00~9:00 朝食

9:00~10:00 閉会式

山の風景 37

滝が岳 (山口県) (365m)

2013・9・29

写真提供 森 智昭 (ひこばえ)



岳連短信

1、第22回比婆山国際スカイラン開催要項
(抜粋) 新緑のブナの森を走る

1、期日 2014年5月18日(日) スタート

2、場所 中央中国山地 比婆山連峰

広島県庄原市西城町 ひろしま県民の森

3、種目

種目	部門	備考
Aコース 18,5km	男子 15~79才 女子 15~79才	制限時間 約 10,0km、11,6 km2地点(2時 間30分)
Bコース 9,0km	男子 12~79才 女子 12~79才	

4、時間制限

Aコースに限り制限時間制を設けます。計測は2地点(おっぱら越 約 10,0km 立烏帽子駐車場約 11,6km 地点)で2時間30分を超える者は、その時点で失格とします。

5、計測方法

手動計測方式(大会専用デジタルウォッチによる自動計測)ゴール後、記録証を交付します。

6、募集人員

A、Bコース合わせて 1,000名

7、大会日程

5月18日(日)

受付(県民の森多目的ホール内) 8:00~9:00

開会式・準備体操 9:30~9:45

Aコーススタート 10:00

Bコーススタート 10:30

閉会式 14:00

8、表彰

Aコース(18,5km)総合表彰(男女)1~3位

Bコース(9,0km)総合表彰(男女)1~3位

A・Bコース男女1~3位に優勝トロフィーと賞状を贈ります。A・Bコースの完走者に記録証を交付します。

9、参加資格

Aコース: 15～79歳の健康な者で長距離走や登山の経験がある者、またはこれと同等の体力・気力を有し、完走できる者。

Bコース: 12～79歳の健康な者で長距離走や登山の経験がある者、またはこれと同等の体力・気力を有し、完走できる者。

但し、18歳未満の参加者は保護者の同意書を必要とします。

10、参加料金

A・Bコース	一般	5,000円
	中・高生	3,000円

参加費は検討中です。

希望者にはお弁当(1個700円)を手配しますので参加料金に添えてお申込みください。

11、参加申し込み

①申し込み方法

RUNET (<http://runnet.jp>)での申し込みも可能です。

○所定の申込用紙(振込払込取扱票と兼用)に、必要事項(別紙必要事項注意事項参照)を記入し、参加料等を添えて事務局へ郵便為替でお申し込みください。

○誓約書には必ず記名押印してください。18歳未満(高校生以下)の方は、保護者の承認(署名・押印)が必要です。

○申し込み後不参加の場合、参加料は返還しません。

○定員を超過した場合には送金します。

②申し込み期間

平成26年1月6日(月)～4月18日(金)必着

但し、先着順に定員になり次第締め切ります。

③参加申込者には、大会10日前頃にナンバーカード引換証付のハガキを送付します。大会当日、必ずハガキをご持参ください。

12、参加上の留意事項

①参加者の安全を守りため、競技役員がこれ以上の競技続行不可能と判断した場合には、本人の意思にかかわらず競技を中断させていただきます。

②大会中に生じたケガや事故については、主催者は応急措置、救護活動のみ行いそれ以外の責任は負いませ

ん。但し1日スポーツ傷害保険に加入しますので、その適用を受けることが出来ます。

③悪路、急斜面の山岳マラソンなので、体力、健康及び安全面については、各自が十分注意し責任をもって参加してください。(山岳路などで試走するか、山岳路でのトレーニングを十分に行って参加することが望ましいです。)

④健康保険証は持参してください。(コピーでも可)

⑤天候急変の場合があるので、服装などに十分注意してください。なお、競技実施不可能の場合は、大会を中止します。

⑥大会会場付近では食事等の販売をする店がありませんので、お弁当の昼食は各自でご用意されるか、参加申し込み時点でお弁当の注文をお勧めします。

13、大会記録一覧表の請求について

大会記録一覧表をご希望の方は、一部500円(送料含む)にてお送りします。料金を添えてお申し込みください。後日ご本人に送付します。(当日の申し込みは受け付けません。)

大会コース (大会コース概念図 略)

Aコース 距離 18,500m

県民の森スキー場周回→第2キャンプ場→伊良谷山→毛無山→出雲峠→烏帽子山→比婆山(御陵)→おっぱら越→池の段→立烏帽子駐車場P→蔵王山→立烏帽子駐車場P→ささ尾根→展望園地→県民の森スキー場
(出発地点 835m、最高地点 1,279m、標高差 444m)

Bコース 距離 9,000m

県民の森スキー場周回→第2キャンプ場→伊良谷山→毛無山→出雲峠→旧若人の家→県民の森スキー場
(出発地点 835m、最高地点 1,149m、標高差 314m)

事務局 〒733-011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

(一社) 広島県山岳連盟 比婆山国際スカイラン大会
事務局 TEL/FAX 082-296-5597

(詳細は「大会開催要項」(上記宛請求のこと)を参照ください。)

○筆影 会報 N0405 2013・12 三原山の会
 ○ひこばえ 79 登山教室同窓会報 2013・11・10
 登山教室同窓会 ひこばえ



岳連短信 写真は 比婆山スカイラン反省会
 2012・8・1 ホテルセンチュリー21
 写真提供 小林敏行

2、「広島三峰会」ホームページ開設

広島三峰会は6月下旬よりホームページを開設しております。時間のとれる時にのぞいてみて下さい。検索は **広島三峰会** でクリックすれば開けます

3、賛助会員のお願い

財政の強化のため賛助会員を募集しています。岳連の発展のためご協力をお願いします。

口数 個人 1口 (5,000円) 以上

加盟団体・法人の場合 1口 (10,000円) 以上

- 1、賛助いただける口数でお願いします。
- 2、申込書と申し込み口数を山岳連盟事務局まで
お届けください。

振込先：広島銀行 横川支店

(口座番号(普通) 014-3251234 加入

者名

一般社団法人広島県山岳連盟会長 京オ 昭

4、受贈誌御礼

○JAC Hiroshima 第49号 2013・10・1

(公社) 日本山岳会広島支部報

○福山山岳会報 平成25年12月号 福山山岳会

書評

「空白の五マイル

ーチベット、世界最大のツアンポー溪谷に挑む」

角幡唯介 2010 集英社

仲井正美

過去の探検家が挑み到達できなかった「空白の五マイル」と呼ばれる地帯を現地に何度も足を踏み入れ、終に達成したドキュメンタリー記録。

過去の名だたる探検家が挑み跳ね返されてきたツアンポー溪谷、当時もとても厳しいとされてきた地理的な課題が、今も未解決のまま残されている。その事実を知り魅了した著者のツアンポー溪谷探検が始まる。

著者の調べたツアンポー溪谷をめぐる探検史も圧倒的に面白い。そして著者の辿った単独行の記録は、広島山のヤブコギを経験した者にとってもその万分之一くらいは理解が出来る。

「踏み跡は非常に不明瞭で私はヤブコギにまぎれて何度も見失った。獣道や紛らわしい地形に行き当たると、それが正しい踏み跡なのかまったくわからなくなり・・・」「ツアンポー溪谷の旅は自分の人生において、これ以上ない重みをもった経験となるに違いなかった」と書かれている。

かくはたゆうすけ
角幡唯介

1976年北海道芦別市生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。同大学探検部OB。2001年ヨットで太平洋を航海後、ニューギニア島トリコラ北壁初登。02～03年長らく謎の川とされてきたチベット、マル・ツアンポー川溪谷の未踏査部を単独で探検し、ほぼ全容を解明。03年朝日新聞社入社。08年同社退社、同年ネパール雪男捜索隊隊員。

著書に「川の吐息、海のため息—ルポ黒部川ダム排

砂」(桂書房) 2010 年本作品で第 8 回開高健ノンフィクション賞を受賞。

もみじ バックナンバー111～122

(2013・1・30～12・10)

バックナンバーは岳連ホームページから閲覧できます

発行年月日	主要記事	その他
もみじ 111 (2013・1・30)	○広島県山岳マラソン 連絡協議会 相互協 力・連携探る ○初めてのヒマラヤト レッキング谷本治	山の風景 24 (手箱山) 岳連短信 ○弥山登山に 潜む危険
もみじ 112 (2013・3・20)	○会員例会山行計画 会員の交流の輪を広 げよう ○私の百名山⑨ 小方重明	事務局当番・ 俳句 5 題 山の風景 25 (牡蠣山) 岳連短信 故郷広島山
もみじ 113 (2013・5・25)	○21 回比婆山国際スカ イラン ○再開後最多の 799 人 ○第 12 回ひろしま山の 日県民の集い	山の風景 26 (手箱山) 岳連短信
もみじ 114 (2013・6・25)	○平成 24 年度決算 △1,045,503 円 ○京才会長・山田理事長 再任 定期総会 ○アジア山岳連盟広島 大会 2014	総会出席者 山の風景 27 (掛頭山) 俳句 5 題 岳連短信
もみじ 115 (2013・7・1)	○第 12 回ひろしま県民 の集い登山道整備 ○クライミングスクー ル受講	山の風景 28 (吾妻山) 岳連短信
もみじ 116 (2013・7・10)	○山岳辺境文化セミナ ー2013 10 月 19 日開 催 ○救急法講習会報告・山	全員協議会報 告・出席者名 岳連短信 山の風景 29

	岳レスキュー講習会 報告	(烏帽子山)
もみじ 117 (2013・7・30)	○「危機意識」をもって 入山すること 長野 県遭難対策協 ○山岳連盟に加入メリ ットは	岳連短信 俳句 5 題 山の風景 30 (湯来冠山)
もみじ 118 (2013・8・20)	○韓国大邱高校生交流 登山通じて国際交流 深める 研修会報告 ○宮島太郎の会が入山 許可取得 山本拓志	岳連短信 山の風景 31 (大杉溪谷)
もみじ 119 (2013・9・25)	○山岳辺境文化セミナ ー ○挑戦し続ける想い 竹内洋岳 ○文化セミナーの歩み 1993～ ○研修報告	俳句 5 題 上高地散策 岳連短信 山の風景 32 (岩木山)
もみじ 120 (2013・10・25)	○山岳辺境文化セミナ ー ○守ろう伝えよう 山 岳の自然と文化 自然 保護総会報告 森智昭	研修会報告 岳連短信 山の風景 35 (小遠見山)
もみじ 121 (2013・11・30)	○「山の日」は 8 月 11 日超党派議連が提案へ ○登山教室を終えて	岳連短信 書評「熱き心」 俳句 山の風景 36 (描場山)
もみじ 122 (2013・12・10)	○第 2 回全員協議会 山岳連盟の財務状況 指導事業の課題 アジア山岳連盟総会	山の風景 37 (滝が岳) 岳連短信

編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発
行しています。岳連行事・山の情報・行事参
加の感想・写真など気軽にお寄せください。
編集の都合で一部手直しすることがありま

す。ご了承ください。

- 各研修会、講習会へ参加された方は積極的に報告書を提出ください。随時掲載いたします。

題字デザイン 今村みずほ 編集 仲井正美